

令和 5 年 8 月 28 日

学校法人 実学舎
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
学校関係者評価委員会

令和 4 年度についての学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会を令和 5 年 8 月 28 日、本校にて実施しました。その結果を下記のとおりご報告いたします。

記

1. 開催日時

・令和 5 年 8 月 28 日（月） 15 時 00 分～16 時 00 分

2. 場所

・本校 205 講義室

3. 出席委員と本校からの出席者

出席委員：

長谷川 清司 （元高等学校校長）

斉藤 等 （株式会社アイネット 管理部 部長）

榎谷 都由 （イシイ株式会社 マーケティング部 取締役）

小林 均 （株式会社太洋社印刷所 総務部 取締役 部長）

発知 絵理香 （株式会社ソフタス 総務部 採用担当）

関 隆司 （医療法人明浩会 西大宮病院 医療事務部 部長）

和田 拓也 （父母等）

小林 恵美 （父母等）

小河原 昌希 （卒業生）

青山 実津希 （卒業生）

本校からの出席者：

坂本 健司（副理事長）、高野 庸夫（校長）、深野 敦史（教務部長）、大木 健一（教務部長代理）、杉浦 真一（総務・広報課長）

4. 学校関係者評価委員会次第

① 開会

- ② 議長選任
- ③ 自己紹介
- ④ 自己点検・評価結果の説明（校長）
- ⑤ 委員による評価および意見交換
- ⑥ 閉会

5. 自己点検・評価結果の説明（校長）

別紙「令和4年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに、その結果について説明しました。

6. 委員による評価および意見

別紙「令和4年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに評価を行い、その内容は概ね良好であると結論づけました。なお、委員による評価および意見は下記のとおりです。

●委員による評価

※評価は5段階（未達成、不十分、普通、ほぼ達成、達成）で実施しています。

1.教育理念・目的・育成人材像等		評価
評価項目	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	達成
	1-2 学校の特色はなにか	達成
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	達成
2.学校運営		
評価項目	2-4 運営方針は定められているか	達成
	2-5 事業計画は定められているか	達成
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	達成
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	達成
	2-8 意思決定システムは確立されているか	達成
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	達成
3.教育活動		

評価項目	3-10 各教科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	達成
	3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構築する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	達成
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	達成
	3-13 学科の各教科は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成
	3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	達成
	3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	達成
	3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	達成
	3-17 資格取得の指導体制はあるか	達成
4.教育成果		
評価項目	4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	普通
	4-19 資格取得率の向上が図られているか	達成
	4-20 退学率の低減が図られているか	達成
	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	達成
5.学生支援		
評価項目	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	達成
	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	達成
	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	未達成

目	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	普通
	5-28 保護者と適切に連携しているか	達成
	5-29 卒業生への支援体制はあるか	ほぼ達成
6.教育環境		
評価項目	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備できているか	達成
	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ達成
	6-32 防災に対する体制は整備されているか	達成
7.学生の募集と受け入れ		
評価項目	7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	達成
	7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	達成
	7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	達成
	7-36 学納金は妥当なものとなっているか	達成
8.財務		
評価項目	8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	達成
	8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	達成
	8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	達成
	8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	達成
9.法令等の遵守		
評価項目	9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	達成
	9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	達成
	9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	達成
	9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか	達成

10.社会貢献		
評価項目	10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	未達成
	10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	普通

●委員からの意見

- ・退学率の状況はどうか。
- ・昨年度1年が11.63%、2年が3.46%、一昨年度1年が7.6%、2年が0.56%であった。(本校)
- ・退学率と就職率は関係あるのか。
- ・モチベーションの観点から多少関係するかもしれないが、大きな関係はないと思われる。集団生活に馴染めない学生もおり、就職活動を行うことも困難な状況である。(本校)
- ・会社へ就職する学生と起業する学生の状況はどうか。
- ・大半の学生は就職希望であり、起業する学生はほとんどいない。(本校)
- ・専門就職率が減少しているのはどういうことか。
- ・専門就職率は、在籍していた学科に合致した職種に就職した割合を示す。(本校)
- ・昨年度の2年生は231人と多く、様々な職種に就職した結果と思われる。(本校)
- ・就職率を向上させるため、どのような対策を実施しているのか。
- ・昨年度から就活キックオフを4か月早め9月に実施することとした。今年度は校内企業説明会を44回と増やし、ハローワークへの登録も早くした。その結果、今年度の学生は意識も高まり、就職活動も早まっている。(本校)
- ・自分にとってどの会社がベストなのか分からない状況で受験した。先生からのアドバイスはあったが、もっと強力なアドバイスが欲しかった。
- ・仕事内容が分からず、自分がやりたいことも分からなかった。医療事務科の病院実習のように、私が在籍したビジネス科でも体験できればよかった。
- ・インターンシップ実施は、受け入れる企業も少なく現状では困難な状況である。(本校)
- ・企業が社員を採用する際、即戦力を重視するのか、入社後に育成するのか、各企業の方にお聞きしたい。
- ・即戦力を求めて中途採用することもある。新卒の社員には3年かけて手厚く研修している。
- ・基本的には、新卒の社員を社内で育成している。中途採用するのは、紹介者だけであるが、価値観が異なることもある。

- ・新卒の社員を社内で育成するのが中心である。紹介者を中途採用することもある。
- ・基本的には、新卒の社員である。経験者が退職したときに中途採用することもある。新卒社員を先輩社員が教えることで、先輩社員が成長する。
- ・新卒が中心で、先輩職員が教えることにより、先輩職員も成長する。ただし、コロナの影響で退職した職員を補充するため、中途採用も行った。
- ・インターンシップ申込の案内があったが、学校からの詳しい説明がなく、礼状の書き方など自分で調べて対応した。実例説明など指導があると思っていた。
- ・今回の件は、対応が不十分で申し訳なかった。1年の10月からは、キャリアデザインの授業があり、様々なことを指導している。ただし、インターンシップの早期化もあり、対策を検討したい。(本校)
- ・インターンシップに参加するためのノウハウをまとめて、教室に設置したらよいのではないかな。
- ・東京でのIT求人は多いので、東京の会社を勧めたらよいのではないかな。
- ・入社するか不明でも、会社訪問して欲しい。多くの会社に行くことで、社会を知ることができる。
- ・キャリア支援センターからの連絡もあり、現状でも学生に寄り添っていると思われるが、更に寄り添うといいのではないかな。
- ・コロナの影響もあり、コミュニケーション能力が低い学生が多い。コミュニケーション能力を向上させる教育を強化すれば、就職率も改善するのではないかな。

以上